

文部科学省における地域イノベーション創出に向けた取組

文部科学省では、平成14年度から「知的クラスター創成事業」等を実施し、新たな技術シーズの創出や産学官連携体制の構築など、地域における科学技術のインフラ整備に取り組んできました。

平成23年度からは、産学官連携施策等を通じて地域が主体的にイノベーションを創出するためのシステム整備を目的としたイノベーションシステム整備事業において、「地域イノベーション戦略支援プログラム」を実施しています。このプログラムの実施に当たっては、地域において培ってきた科学技術のインフラを活用して、これまでの事業成果を着実に発展させていくとともに、地域イノベーションの創出に向けた主体的かつ優れた構想を持つ地域（地域イノベーション戦略推進地域（P3参照））に対して、関係省庁の施策を総動員して支援することとしています。

イノベーションシステム整備事業について

目的

産学官連携のための大学等の機能強化、地域における産学官共同研究、地域の大学間ネットワークの形成、先端的な融合領域における研究開発拠点形成等を通じて、地域が主体的に実施するイノベーション創出のためのシステム整備を図ることを目的として、地域イノベーション戦略支援プログラムを含め、主に下記の事業を実施しています。

◆ 地域イノベーション戦略支援プログラム

※関係省省が共同で選定した「地域イノベーション戦略推進地域」に対し、文部科学省では知的財産の形成や人材育成等を重視した支援を実施

◆ 大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業

※戦略的研究開発と非顕在シーズ・ニーズのマッチングを一体的に運営する等、大学等発イノベーション創出強化を図るための支援を実施

◆ 先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム

※先端融合領域における研究開発拠点の形成に対する支援を実施

地域における産学官の効果的なイノベーションシステムの構築

